



生活者や来県者の視点から、まちの未来を考える
 主担当部局：まちづくり推進局



市町村との協働によるまちづくり（じゃがいも収穫体験）

目指す姿

生活者や来県者の視点から「やすらぎ」・「憩い」・「もてなし」に配慮した空間づくりを進めます。また県民が安心して住み続けられるよう、福祉・医療・文化施設や川辺等の地域資源を活用した地域を元気にするまちづくりを進めるとともに、公共交通の利用促進を図ります。

目標



●歩行空間が確保されていない通学路、バリアフリー基本構想における生活関連経路などで、

歩行空間の整備

を推進します。

●人々がいきいきと暮らせるまちづくりを推進するため、まちづくりの検討を行う協議会等の数を平成27年度に

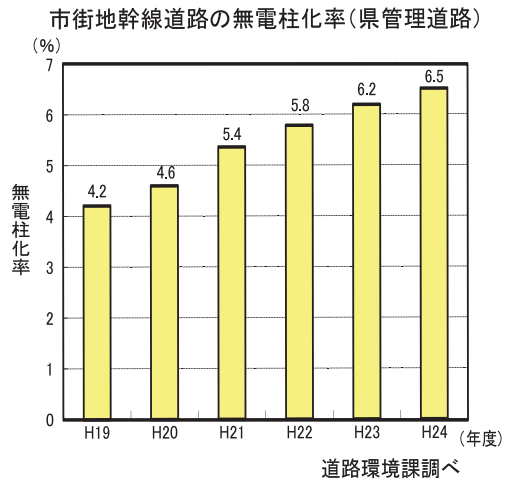
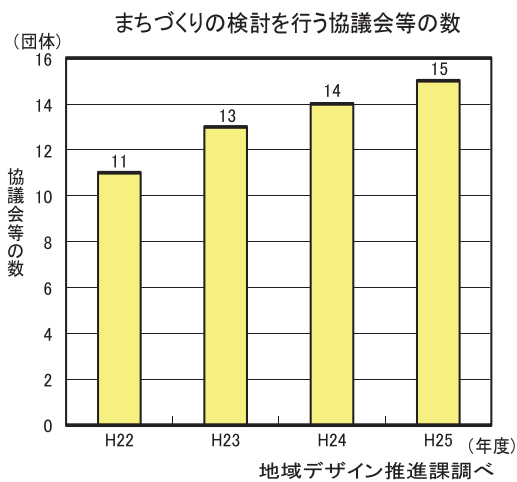
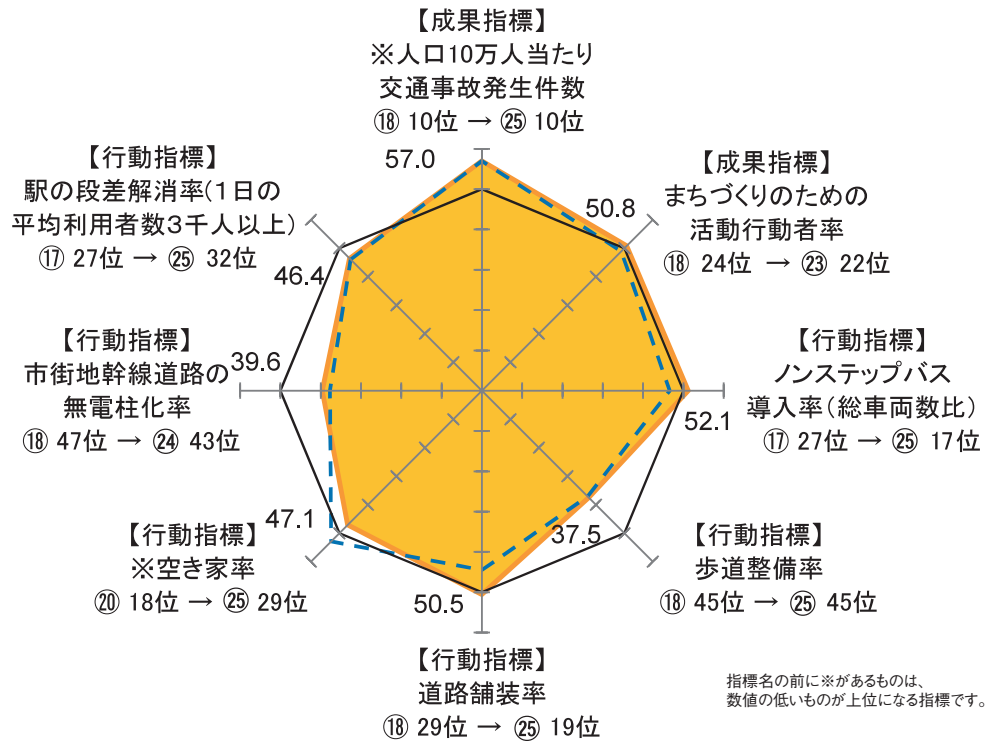
17団体

へ増やします。

(平成25年度：15団体)

分 析

■ 主な指標



- まちづくりの検討を行う協議会等の数は毎年着実に増加しており、今後もまちづくりに対する県民の積極的な取り組みが期待できます。
- 市街地幹線道路の無電柱化率の全国順位は43位と低いですが、歴史的風土保存区域内でも整備を促進しています。

戦略1

やすらぎや憩いを提供する空間づくりに取り組みます。

主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

戦略目標

- ▶ 地域活動が活発な河川において、除草・清掃等の業務を包括的に実施し、維持管理の充実を図り、**良好な河川空間の確保**を目指します。
- ▶ 大宮通りで、地域との協働による**花のあるおもてなし空間づくり**を目指します。
- ▶ 平成27年度に「**無電柱化推進計画(第7期)**」を策定し、**一層の無電柱化を推進**します。

取り組み

児童や高齢者、障害者等多くの人が利用する箇所等での歩行空間の整備

歩行空間における、とどまり・ゆったりできる憩い空間の整備

自転車の利用促進

観光地周辺の公共空間の美装化

道路・河川などの公共施設において花のある空間づくりの推進

来県者をもてなす良好な河川空間を確保し、きれいなまちづくりを推進

無電柱化の推進

都市公園の利活用・適切な管理の推進

親切・美化県民運動の推進



レンタサイクル「古都りん」



川辺のまちづくり
(佐保川 川の彩り花づつみ事業による花植え)

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
児童や高齢者、障害者等多くの人々が利用する箇所等での歩行空間の整備				
◎通学路等の歩行空間の整備		整備		
◎交通安全対策を実施		実施		
歩行空間における、とどまり・ゆったりできる憩い空間の整備				
◎河川沿いの遊歩道整備と憩える広場整備		水辺の遊歩道の整備		
自転車の利用促進				
◎広域的な自転車利用ネットワークの整備推進	サイン等の整備	広域的な自転車道等の整備検討		
◎関係者が連携した推進体制の構築		情報発信の実施、関係機関と協議、モニタリングの実施		
観光地周辺の公共空間の美装化				
◎主要道路沿道の重点的な除草の実施		観光地や観光地を結ぶ主要道路沿道の除草を実施		
◎不法占用対策の強化		道路パトロールの実施		
道路・河川などの公共施設において花のある空間づくりの推進				
◎地域との協働による花いっぱい運動の推進		参加団体の拡充推進、花壇整備の実施		
◎地域との協働による河川美化活動の推進		河川空間を花で彩る活動の実施		
来県者をもてなす良好な河川空間を確保し、きれいなまちづくりを推進				
◎良好な河川空間確保のための重点除草の実施		包括的な維持管理マネジメントの実施		
◎水辺空間（河川、ダム）の景観向上		河川・ダムでの彩りづくりの実施		
◎河川美化活動の促進		活動団体の募集及び活動の見える化の実施		
無電柱化の推進				
◎橿原神宮東口停車場飛鳥線（飛鳥工区）		整備の推進		
都市公園の利活用・適切な管理の推進				
◎都市公園のマネジメントの推進		施設整備、公園管理、利活用の推進		
親切・美化県民運動の推進				
◎クリーンアップならキャンペーンの実施		清掃活動の実施		



川辺のまちづくり（佐保川 川の彩り花つつみ事業による花植え）



川辺のまちづくり（佐保川 川の彩り花つつみ事業による花植え）

戦略2

地域性を活かした、にぎわいのある住み良いまちづくりを推進します。

主担当課：まちづくり推進局 地域デザイン推進課

戦略目標

- ▶ 既存のインフラや新たに整備するインフラを活かして人々がいきいきと暮らせる川辺のまちづくりを目指します。
- ▶ 医科大学教育・研究部門の移転に関しては、平成33年中の新キャンパスオープンを目指します。また、教育・研究部門の移転後に生じる空地及び医大周辺については、高齢者も安心して暮らせるまちづくりを目指します。
- ▶ 県総合医療センター周辺地域において、**住み慣れた地域で一人一人が安心して暮らし続けられるまちづくり**を目指します。
- ▶ 県とまちづくりに前向きでアイデアや熱意のある市町村が**連携協定を締結し、協働でプロジェクトを実施**することを目指します。
- ▶ 地域性に対応したサービス付き高齢者向け住宅の登録を進め、**高齢者の住みよいまちづくり**を目指します。
- ▶ **高齢者居宅生活支援体制の確保された賃貸住宅**について、平成30年度までに、**約2,600人分の供給**を目指します。
- ▶ 市町村や交通事業者、地域住民等と連携・協力のもと、**公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり**を目指します。
- ▶ 土地、建物等の資産を総合的に活用するという**ファシリティマネジメントの考え**方を、県や各市町村が保有する**公共施設に取り入れ、まちづくりの拠点となる施設**を目指します。

取り組み

川辺のまちづくり

医療を中心としたまちづくり

市町村との協働によるまちづくり

県民のニーズにあった住まい・まちづくりの維持・向上

公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり

まちづくりの拠点となる公共施設等の利活用の推進



市町村との協働によるまちづくり（沿道のソバの花）



市町村との協働によるまちづくり（柿の木オーナー収穫）

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
川辺のまちづくり				
◎協議会による川辺のまちづくりの検討・整備	検討、整備			
◎協議会・懇談会による川辺のまちづくりの検討・整備	検討、整備			
◎医療・教育・福祉施設等の既存施設間の連携	連携への取り組み着手	連携強化		取り組みの検証・推進
◎河川空間の整備等	河川清掃、花植え等の実施			
医療を中心としたまちづくり				
◎県立医科大学の教育研究部門の移転に合わせたまちづくりの推進	新キャンパス・附属病院整備計画及び周辺まちづくりの検討			
◎県総合医療センターの整備に合わせたまちづくりの推進		事業計画の検討等		事業の実施
市町村との協働によるまちづくり				
◎市町村との連携協定締結の推進	連携協定の検討、締結			
◎地域の特徴を活かしたにぎわいのあるまちづくりの検討・推進	まちづくりの検討・プロジェクトの実施			
県民のニーズにあった住まい・まちづくりの維持・向上				
◎地域実態に応じた住生活の維持と向上の検討・推進	検討・モデルプロジェクトの実施			
◎「サービス付き高齢者向け住宅」の登録の促進	サービス付き高齢者向け住宅登録			
◎郊外住宅地における「空き家対策」等の推進	対策の推進			
公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり				
◎公共交通の総合的かつ計画的な施策の推進	公共交通施策の実施		新たな公共交通施策の実施	
	基本計画の検討・策定			
◎リニア中央新幹線の建設促進 (東西大動脈輸送ルートの二重系化)	三重・奈良ルートの早期実現及び「奈良市附近」駅の早期確定に向けた要望活動 地元自治体がJR東海から求められる協力事項の検討			
◎市町村のコミュニティバス等への支援	協議、施策の実施			
◎奈良交通(株)との連携協定に基づくバス交通支援	協議、施策の実施			
◎鉄道駅等のバリアフリー化	駅・周辺主要施設における移動空間の整備			
まちづくりの拠点となる公共施設等の利活用の推進				
◎利活用・整理の推進	検討、利活用方針の策定(中部地域利活用及び南部地域再配置計画)			
◎ファシリティ版奈良モデルの検討・推進	国、県、市町村が連携した国公有財産の最適化			



川辺のまちづくり (佐保川 清掃)



川辺のまちづくり (佐保川 清掃)

これまでの成果

電線事業者と無電柱化整備を合意した道路(約27km)について、**無電柱化(約19km)**を**推進**しました。(平成25年3月現在)

佐保川や飛鳥川では**河川空間を活用した懇談会やイベントを開催し、地域住民主体のまちづくり**に取り組みました。

- ・川辺のまちづくり(佐保川周辺)
川辺のまちづくりin大安寺西
(平成26年11月3日開催:約500人参加)
- ・川辺のまちづくり(飛鳥川周辺)
飛鳥川の清掃活動
(平成24年10月から毎月1回実施:
毎月約20~30人参加)
- 灯りの路と多神社の大とんど
(平成24年から毎年1月に開催:
約1,000人参加)

「県有資産の有効活用に関する基本方針」に沿って、中部地域の庁舎系施設の再配置計画を策定し、**旧耳成高校を榎原総合庁舎に改修する工事を完了**しました。(平成26年11月)

医大病院玄関口に新たにバス停を設置し、路線バスの乗り入れを開始しました。

まちづくりに前向きでアイデアや熱意のある**市町村と連携協定を締結**し、まちづくりに関する取り組みを推進しました。(天理市、大和郡山市、桜井市、奈良市の4市で協定締結(平成27年1月末現在))

奈良県総合医療センター周辺のまちづくりにおいて、**まちづくり協議会を定期的に開催**し、また、住民の健康・介護相談を行う暮らしの保健室の開設準備を支援し、**健康長寿のまちづくりに取り組み**ました。

知事が会長を務め、市町村長や交通事業者の代表者等から構成される**奈良県地域交通改善協議会**で**地域交通のあり方について協議**を行い、平成26年9月2日に開催された第6回協議会では、**中南部地域における路線バスのあり方についての協議**が**完了**しました。(協議期間:平成25年2月~平成26年9月)

主な指標の動き

■よくなっている指標

※人口10万人当たりの
交通事故発生件数

569.6件
(平成18年 全国10位)



366.9件
(平成25年 全国10位)

全国順位に変化はありませんが、安全対策等の実施により発生件数は大きく減少しました。

■変化が見られない指標、低下している指標

まちづくりのための活動行動者率

13.7%
(平成18年度 全国24位)



13.3%
(平成23年度 全国22位)

相対的に他の行動者率が上昇したため、まちづくりのための活動行動者率は若干減少しましたが、全国順位は若干上昇しました。

指標名の前に※があるものは、数値の低いものが上位になる指標です。



市町村との協働によるまちづくり（柿の木オーナー摘果作業）



市町村との協働によるまちづくり（地域食材イチゴ料理教室）